

特集 下仁田学習

—授業実践とジオパーク活動—

下仁田学習は、2013年（平成25年）に誕生した。小学校と中学校の先生たちが、子どもたちに下仁田町の自然・歴史・伝統・文化を学ぶことができるようにつくったものである。小学校から中学校までの9年間を通じての教育プログラムは教材系列表と呼ばれ、下仁田町の具体的な題材が各学年にちりばめられている。下仁田学習は、地元の自然・歴史・伝統・文化を十分に体感し、仲間と考え、発表し、生まれ育った下仁田町の多くを学ぶことができる。

「下仁田町自然史館研究報告 第3号」では、この下仁田学習を特集として取り上げる。本特集は、下仁田町教育研究所（2014）の発行した「平成26年度 研究紀要」に掲載された内容と、2016年11月20～21日に開催された日本ジオパーク関東大会（群馬県下仁田町）の教育分科会で発表された内容をまとめたものである。

郷土に親しみ郷土を愛し郷土を誇りに思う児童・生徒の育成

—小中連携による系統的な下仁田学習を通して—

小嶋浩司^{*1}・谷川英樹^{*2}

I 主題設定の理由

2014年6月、富岡製糸場および絹産業遺産群がユネスコ世界文化遺産に正式に登録され、絹産業遺産群を構成する下仁田町の荒船風穴にも、多くの観光客が訪れている。また、下仁田町には根なし山や中央構造線の一部である断層、妙義山や荒船山などの日本有数の地質学的な資源があり、2011年9月に日本ジオパークに認定された。下仁田町の特産品としてはネギとコンニャクおよびその産業史、特色ある産業としては林業などがあり、地域素材にはたいへん恵まれている。さらに、町内には自然史館や歴史館などの施設があることから、施設見学や学校への講師の招聘などを通じた専門的な学習が可能である。

下仁田町は、2012年度に4つの小学校が統合し、町内全域から1つの小学校、中学校へと児童・生徒が通学するようになった。これにより、郷土下仁田町の地域を生かした小中9年間を通じた学習を推進することも容易になった。

下仁田学習について、2013年度より下仁田町教育研究所を中心とした検討が始まり、下仁田学習の概要や基本的な考えを明確化し、地域素材を活用した下仁田学習の系列表が作成できた。

2年次は、「小中連携による系統的な下仁田学習を通して」をサブテーマとし、下仁田学習の体系化をさらに進めるとともに、総合的な学習の時間における位置づけ、行事や教科の中での関連づけなどを明確にし、郷土下仁田町の地域素材を活用した教育課程を実施することで下仁田学習の充実を図りたいと考え、本主題を設定した。

II 研究のねらい

下仁田学習の体系化を進めるとともに、郷土下仁田町の地域素材を活用した教育課程を実施し充実することで、郷土に親しみ郷土を愛し郷土を誇りに思う児童・生徒を育成する。

III 研究の見通し

- 1 荒船風穴、下仁田ジオパーク、ネギ、コンニャクを下仁田学習の4つの柱として教材系列表の見直しを行い、教育課程の中に位置づけて実施することで、小学校・中学校9年間を通して発達段階に応じた系統的な下仁田学習を展開することができるであろう。
- 2 小学校5年生と中学校2年生で総合的な学習の時間におい

2017年12月11日受付。2018年2月2日受理。

*1 下仁田町立下仁田小学校

*2 下仁田町立下仁田中学校

てジオパーク学習の授業実践を行い成果と課題を明らかにすることで、郷土に親しみ郷土を愛し郷土を誇りに思う児童・生徒を育成することができるであろう。

IV 研究の概要

1 下仁田学習の教材系列表の見直し

下仁田町の特徴的な地域素材であり下仁田学習の中核となる荒船風穴、下仁田ジオパーク、ネギ、コンニャクの4つを柱として、下仁田学習の教材系列表を見直して作成する。

2 単元指導計画の見直し

教材の洗い出し、形式を再検討し、下仁田学習の単元指導計画を見直して作成する。

3 授業実践

- (1) 小学校では5年生の総合的な学習の時間で下仁田ジオパークについて取り上げ、自分たちで選んだジオサイトについて調べてまとめ、発表会を行う。
- (2) 中学校では2年生の総合的な学習の時間で下仁田ジオパークの魅力の発信活動を行い、その成果を発表し合う

学習を行う。

- (3) これらの学習を通して児童・生徒が郷土についての理解を深め、郷土のよさを知り、郷土を誇りに思う児童・生徒が育成できているのかを検証する。

V 下仁田学習について

1 下仁田学習とは

郷土下仁田町の地域素材を活用した特色のある教育課程を編成・実施し、小中学校9年間で系統的な学習を展開することによって、郷土に親しみ郷土を愛し郷土に誇りをもてる児童・生徒の育成を図る教育。

2 下仁田学習を進める上での基本的な考え方

小学校では、下仁田の特徴を体験する機会を多く設定し、中学校では、下仁田についての情報発信を設定する。

3 下仁田学習の各学年ブロックのねらい

児童・生徒の発達段階、地域の実状、各学年の学習内容にあわせ、各学年ブロック等の下仁田学習のねらいを、以下のように設定した。

小学校1・2年生

ほたる山公園への遠足や町たんけん、生きものさがし、自然観察等、生活科の学習等を通して、下仁田町の自然や特色に親しむ。

小学校3・4年生

コンニャクやネギの栽培、カイコの飼育・観察、季節の自然観察、下仁田町歴史館での学習等を通して、ジオパークや絹遺産群、下仁田の特産品への理解を深める。

小学校5・6年生

ジオパークの学習、妙義青少年自然の家への宿泊訓練、荒船風穴への遠足、尾瀬学校、理科や社会科等の学習を通して、下仁田町への理解を深め、郷土を愛する心情を育成する。

中学生

小学校での学習内容をベースに、総合的な学習の時間、理科、社会、美術等での学習を通して下仁田町の特徴について理解を一層深めるとともに、下仁田町の魅力について発信し、郷土を愛し誇りに思う心情を育成する。

VI 教材系列表

小学校の下仁田学習の教材系列表

平成26年度

学年	荒船風穴	ジオパーク	ネギ	コンニャク	その他
1年		ホタル山・青岩公園行事 (クリッペや青岩を知る) 5時間			
2年		ホタル山・青岩公園行事 (クリッペや青岩を知る) 5時間			
3年	昆虫を育てよう (カイコの飼育) 理科 総合 8時間		われら下仁田たんけんたい 「コンニャクを育てて食べてみよう」 総合 10時間 学校の畑で栽培 コンニャクの料理作り		古い道具 社会 9時間 ふるさとセンター 見学 : 磁石の性質 理科 8時間 中小坂山
4年	まちを開く社会 9時間 青木満之助 庭屋静太郎		下仁田ネギを育てる体験をしよう 総合 10時間 (ネギ植え 植えかえ 収穫 料理作り)		水はどこから・ごみはどこへ・交通事故を防ぐ・火事を防ぐ社会 30時間
			世界とつながる群馬県社会 県のしょうかいパンフレット 2時間		
5年		自然に触れよう感じよう 「下仁田ジオパーク探検隊」 総合 20時間			宿泊訓練行事 6時間 「妙義青少年自然の家」
		流れる水のはたらき 理科 4時間 (馬山段丘, 鎌川・青岩, 水車小屋)			
6年	絹遺産群について調べよう 総合, 行事, 社会 20時間 (荒船風穴と神津牧場への遠足) (荒船風穴と富岡製糸場・高山社の関連, 事前学習)	大地のつくりと変化 (青岩, 地層, 石灰岩など) 理科 12時間			縄文のむら社会 8時間 馬山段丘 昔の住居跡の遺跡 ふるさとセンター

中学校の下仁田学習の教材系列表

学年	荒船風穴	ジオパーク	ネギ	コンニャク	その他
1年		ジオパークについて理解を 深めよう 総合 12時間			
		下仁田町隠れ名所マップを作ろう 総合 18時間			
		大地のなりたちと変化 理科 5時間			
2年		身近な地域の調査 社会 7時間			
		下仁田ジオパークの魅力を 広めよう 総合 16時間			開国と近代 日本の歩み 社会 8時間
		下仁田の「のぼり旗」の作成 美術 10時間			
			郷土料理をつくろう 技術・家庭 1時間		仕事の魅 力を発見 ー職場体 験学習よ りー 総合 36時間
3年	下仁田町のエキスパートに なろう 総合 18時間				
	よりよい社会をめざして 社会 6時間		郷土料理をつくろう 技術・家庭 1時間		

VII 授業実践

【下仁田小学校における実践】

1 単元名

自然に触れよう感じよう「下仁田ジオパーク探検隊」

20時間予定

小学5年生 総合的な学習の時間

2 ねらい

本単元は、5年生の総合的な学習の時間の単元「自然に触れよう感じよう」の中で「下仁田ジオパーク」の内容を扱ったものである。身近な下仁田ジオパークや妙義の自然の学習を通して、大地や地層などの空間的な広がりや過去の時間への理解を深め、自分たちが住んでいる地域の自然環境に関心を持たせ、さらに調査や取材などの探究活動を行うことで地域のすばらしさや課題を発見し、ふるさとを大切にすることを育成していくことをねらいとしたものである。

下仁田町は、「下仁田ジオパーク」として、日本ジオパークに認定されている。跡倉クリッペ、中央構造線といった大地の変動の痕跡など様々な地質現象を観察することができる。さらに、下仁田町自然史館や下仁田町歴史館などの博物館や資料館、地域を学び普及するための下仁田自然学校も開設されている。5年生では学校行事である妙義青少年自然の家宿泊訓練もあり、妙義登山等で雄大な自然と奇勝な岩場や地形などの体験学習を通して自然に直接触れ合うことができる。また、学校のすぐ近くにあるジオサイトの見学により、地域の特徴的な地形や地質、自然環境などに触れ、専門の先生に直接指導していただくことで児童の興味・関心を高めることができる。これらを通して、主体的な問題解決学習の展開を充実させ、本物に触れながら実感を伴った理解をさせることで、下仁田ジオパークや地域のすばらしさや課題を発見し、郷土の知識・理解を深め、郷土のよさを知り、郷土を誇りに思える児童の育成を図ることができる単元である。



青岩公園の石畳、跡倉クリッペ

3 目標

自分たちが住んでいる地域のジオパークに関心を持ち、調査や取材などの探究活動を通して、地域のすばらしさや課題を発見し、郷土の理解を深め、ふるさとを大切にすることを養う。

4 指導と計画（全20時間+学校行事）

1 時限 下仁田ジオパークについてパソコンで調べる。

2～4 **第1回ジオパーク見学**を行い、概要を知り、体感する。

5・6 下仁田ジオパークを見学したことをミニ新聞にまとめる。（個人）

学校行事 「妙義青少年自然の家」宿泊訓練に行き、登山や石門巡りなどを行う。

7・8 班ごとに調べたいジオサイトと課題を決め、計画を立てる。

9～12 **第2回自然史館・ジオパーク見学**を行い、取材や資料収集をする。

13～17 班ごとにテーマを分担して壁新聞にまとめる。（6班）

18 **発表会（リハーサル）**を行い、お互いに調べてまとめたことを発表する。

19・20 お世話になった自然史館の方や保護者を招き、**発表会**を行う。振り返りをする。

5 実践の概要

(1) 第1回 ジオパーク見学 2016年5月23日（金）

ア ねらい

下仁田ジオパークについて概要を知り、見学をして体感する。

イ 日程及び概要

9：40 学校にて下仁田ジオパークの概要を聞く（下仁田ジオパークのビデオ観賞、プレゼンテーション）



青岩公園の河原の石を図鑑で調べる



川井の断層と中央構造線



下仁田層の貝の化石

10:30 ジオサイトの見学(徒歩)
青岩公園、川井の断層(中央構造線)、貝の化石

12:10 ジオサイトから帰る(徒歩)

12:20 学校着 お礼のあいさつ

*講師 自然史館 館員、ボランティアガイド

ウ 成果

ビデオやプレゼンテーションにより下仁田ジオパークの主なジオサイトについての話を聞き、貴重な地質の見られるジオパークの概要を知ることができた。その後、講師の方々とともに青岩公園や川井の断層(中央構造線)を見学した。石拾いや貝の化石を探すといった体験もでき、ジオパークを通して下仁田町の自然に対する興味関心を高められた。

(2)「妙義青少年自然の家」宿泊訓練 2016年6月26・27日
(木・金)

ア ねらい

5年生は学校行事として「妙義青少年自然の家」宿泊訓練の妙義登山により、雄大な自然と奇勝な岩場や地形などの体験学習を通して自然に直接触れ合う。そして、妙義山の石門や自然に対する興味関心を高め、ジオパーク学習の総合的な学習の時間をより充実する。

イ 日程及び概要

1日目 10:10 妙義山の石門巡り(徒歩)
(一本杉、さくらの里、第1石門~第4石門、中之嶽神社)

15:30 自然の家着

ウ 成果

石門巡りを初めて体験する児童も多く、雄大な自然と奇勝な石門や地形を体感することができ、下仁田ジオパークの一つである妙義山を知ることができた。また、上毛カルタにもあり、上毛三山の一つでもある妙義山に対する興味関心を高められた。

(3)第2回 自然史館とジオパークの見学 2016年10月22日
(水)

ア ねらい

自然史館やジオサイトを見学し下仁田ジオパークについて調べる。

イ 日程及び概要

9:20 自然史館着

あいさつ、館内の展示見学と取材及び質問

10:10 ジオサイトの見学(徒歩)

跡倉の地層(すべり面、大桑原の褶曲)

12:20 学校着

*講師 自然史館 館員、ボランティアガイド



登山道入り口と第1石門



妙義宿泊訓練くさり場



第4石門と大砲岩



自然史館展示物の見学と取材



跡倉クリッペのすべり面



大桑原の褶曲

ウ 成果

自然史館に行き、下仁田ジオパークの展示や資料を見たり、説明を聞いたり、質問をしたりすることによりジオパークの理解が深められた。また、近くの跡倉クリッペの地層や断層などを見学し、ジオパークのすごさなどを体感できた。これらを通して、下仁田町の自然に対する興味関心を高め、自分たちの班で調べているジオパークの課題の解決に役立った。

- (4) 発表会 2016年11月29日(土) 多目的室 19・20時限
保護者及び自然史館の方々参観

ア ねらい

下仁田ジオパークについて、調査や取材などの探究活動を通してわかったことや思ったことなどをわかりやすく発表する。

- イ 発表テーマ *次のテーマで、順番に班ごとに発表
下仁田ジオパーク(概要)

青岩公園

妙義山の石門群

跡倉クリッペ(根無し山)

中央構造線の断層

跡倉クリッペの地層(すべり面、褶曲など)

- *各ジオサイトについて、わかったこと、できたわけやすごさ、感じたことなどを壁新聞にまとめ、発表する。
*メモを取りながら聞く。



発表の様子

ウ 成果

発表会後の児童の感想や聞き取りカードより

- ・ジオパークのことは最初はよくわからなかったけど、発表を聞いてよくわかった。
- ・他の班の発表を聞いて、中央構造線やクリッペのでき方など色々なことがわかってとても勉強になった。
- ・他の班の発表を聞いて、こんなすごいところがあったんだと思った。
- ・妙義山は、昔、火山活動をしていたことがわかった。
- ・下仁田にはとてもすごいところがいっぱいあって、ジオパークはすごいと思った。
- ・下仁田だけでしか見られないところがあるなんて、すごいと思った。

以上のように、授業で使った聞き取りカードからも児童が中央構造線や青岩公園、妙義山の石門など下仁田ジオパークのすごさや秘密などを知ることができた様子がうかがえる。郷土の理解を深めることができたと考える。

6 単元学習前後のアンケート結果より

「下仁田ジオパーク探検隊」の単元の学習前と終了後、5年生児童32名に以下のような項目でアンケート調査を行った。

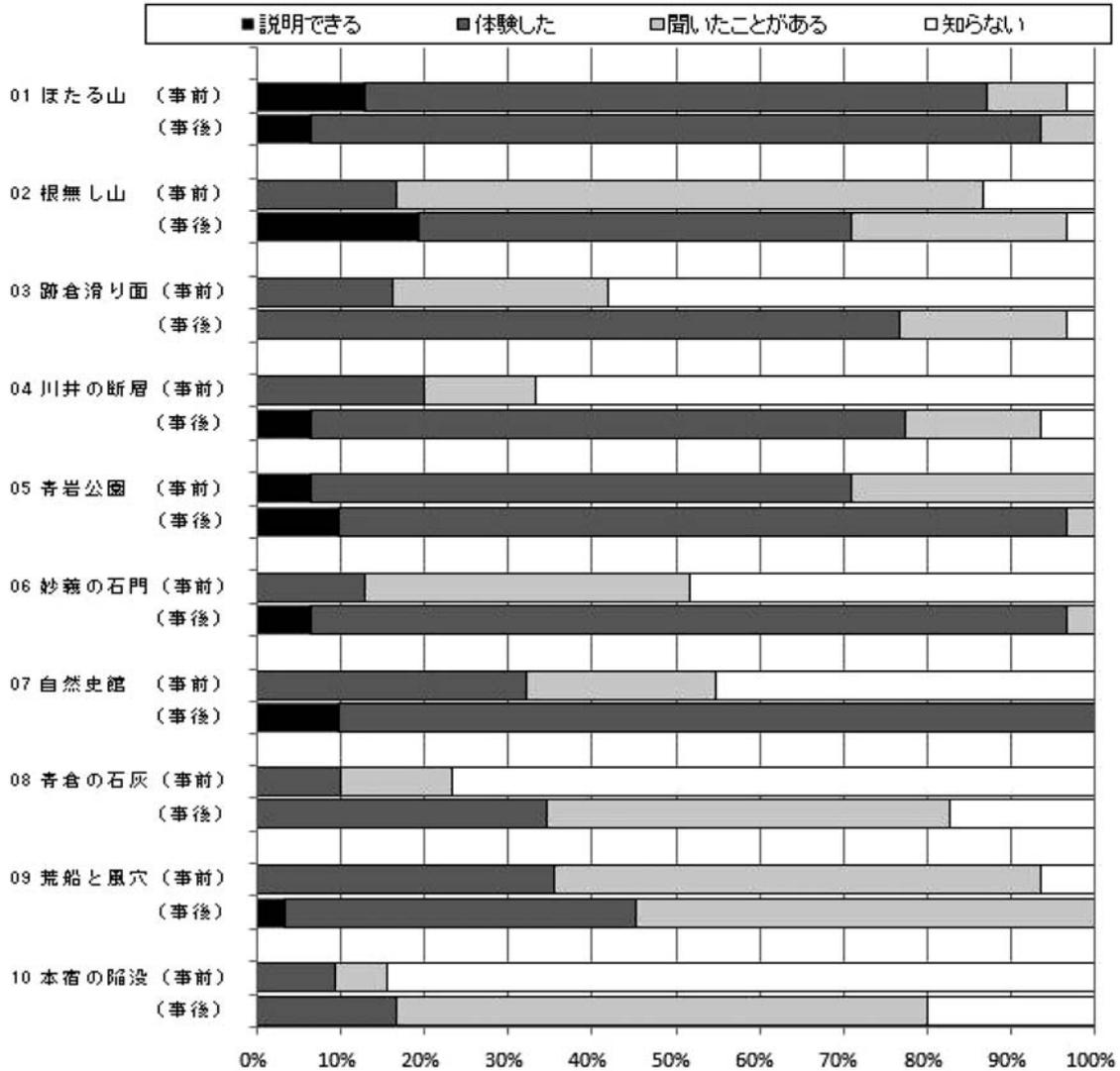
a. 次のジオサイトを知っていますか(第1図)

- ・ホタル山・根無し山(クリッペ)・跡倉クリッペのすべり面・川井の断層(中央構造線)・青岩公園・妙義山の石門・下仁田自然史館・青倉の石灰岩・荒船山と荒船風穴・本宿二重陥没

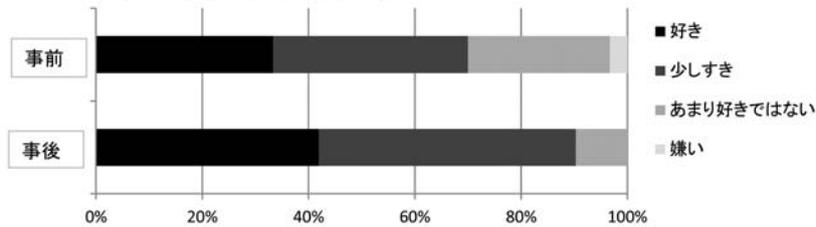
このアンケートの結果より、各ジオサイトについて「説明できる」と「体験した」という児童が増え、特に根無し山や川井の断層、青岩公園、妙義山の石門、自然史館について「説明できる」という児童が増え、ジオパークを調べたり、発表を聞いたりして理解が深まったことがわかる。

b. 下仁田町をどう思いますか(第2図)

このアンケートの結果から、90%の児童が下仁田町を「好き」または「少し好き」と答え、事前よりも20%増えた。このことからジオパークの学習をしたことにより下仁田町への親しみや愛着が高まったと思われる。



第1図 アンケート「次のジオサイトを知っていますか」集計結果



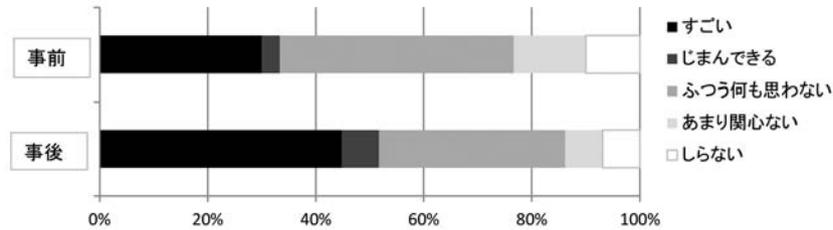
第2図 アンケート「下仁田町をどう思いますか」集計結果

c. 下仁田町がジオパークに認定されたことをどう思いますか (第3図)

このアンケートの結果から、「すごい」と「自慢できる」と答えた児童が15%増え、半数の児童が学習を通してジオパークがあることのすごさを実感し、自慢したいと思えるようになり、下仁田町のよさやすばらしさを知り、下仁田町を誇りに思う素地ができたと考え。

d. 下仁田ジオパークについてわかったことや思ったことを書いてください (自由記述)

- ・私が住んでいる町がジオパークに認定されてすごい。みんなに来てほしい。
- ・下仁田にしかないものがあってすごい。世界ジオパークにアピールしたい。
- ・全国に世界に下仁田ジオパークを広げて楽しんでもらい



第3図 アンケート「下仁田町がジオパークに認定されたことをどう思いますか」集計結果

たい。……

これらの記述から具体的に詳しく記述できている児童が増え、下仁田ジオパークの学習を通してそのすごさを実感し、理解が深まったことがわかる。また、ジオパークをさらに広めたいと思った児童もみられた。

7 実践の成果と課題

(1) 成果

- 導入時に自然史館の方に下仁田ジオパークについて説明をもらった。また学校近くの青岩公園や川井の断層（中央構造線）を実際に見学し、色々な石を拾って図鑑で調べたり、貝の化石を見つけたりすることでジオパークや学習への興味や関心が高まった。
- 授業の課題解決とまとめにおいて、妙義の宿泊訓練やジオパーク見学を行った。妙義山や自然史館、ジオサイトへ実際に行くことで実物に触れたり、体験したりすることができた。妙義山の石門や跡倉クリップのすべり面、大桑原の褶曲のすごさなどを目の当たりにすることができた。
- 自然史館見学では意欲的に取材したり、説明を聞いたり、館内の展示などにも興味を持って見学し、メモを取る様子が見られた。学校近くに自然史館、貴重なジオサイトがあり、専門家や地域教材の活用が図れ、ジオパークの理解や探究活動に役だった。
- 5年生が下仁田ジオパークを学習してきたことは児童にとって大変すばらしい地域教材の学習になり、ふるさとのすばらしさ、郷土を見直すよい学習の機会になった。

(2) 課題

- 発表の内容が小学生には少し高度で、わかりづらいところがあった。地層については理科で6年生で扱い、地質的なことは中学生で調べるのもよい。
- 凝灰岩をギョカイ岩と言っている子も見られ、2千万年前や8千万年前などという表現は専門的で想像できず、小学生にはまだ難しく、わかりやすくする工夫が必要であった。

【下仁田中学校における主な授業実践】

1 中学1年 総合的な学習の時間

(1) 単元名

「下仁田隠れ名所マップー中学生版ーを作ろう」（18時間予定）

(2) 目標

地域の観光に関心を持ち、地域の人々と関わりながら観光名所の詳しい情報を集め、中学生版の観光パンフレットを作るを通して、地域のすばらしさを知り地域への愛着を深める。

(3) 指導計画

	ねらい	学習活動
1 時 限	観光地としての下仁田に関心を持ち、地域について積極的に調べようとする気持ちを持つ。	下仁田町の観光名所について話し合う。 下仁田町の産業について振り返る。 下仁田クイズに取り組みさせる。
2	「観光パンフレット」の形式について話し合い、意欲的にパンフレット作りに取り組む気持ちを持つ。	「下仁田隠れ名所マップー中学生版ー」の内容、作り方、書き方について話し合う。グループ分けをする。
3 ～ 5	「下仁田名所マップ 中学生版」に載せる記事の情報集めに出かける計画を立てる。	班ごとに名所を考え、情報収集に出かける計画を立てる。 取材活動の練習をする。
6 ～ 9	班ごとに現場に出かけ、情報を集める。	班ごとに町に出かけ、第1次調査活動を行う。早く帰ってきた班からまとめを書く。
10 ～ 12	情報を整理し、中間報告会の準備をする。	パソコンファイルに直接写真を貼り、文章を書き込む。班ごとに発表練習を行う。
13	パンフレットに載せる写真や文章が適切か話し合う。（中間報告会）	パンフレットに載せたい文・写真等を報告する。それぞれの名所のよさを判断する。
14	第2次調査活動の計画を立てる。	第2次調査活動の準備・計画をする。 2時間で帰ってこられる計画を立てる。
15 ～ 16	第2次調査活動に出かけ、足りなかった情報を集める。	第2次調査活動に出かけ、足りなかった情報を集める。
17	再調査したことをまとめ、駅や道の駅に置いてもらう。	記事の最終修正をする。
18	単元全体の学習を振り返り、地域のすばらしさについて考える。	最終報告会を行う。 地域のすばらしさについて意見交換する。

(4) 活動の様子

①取材活動



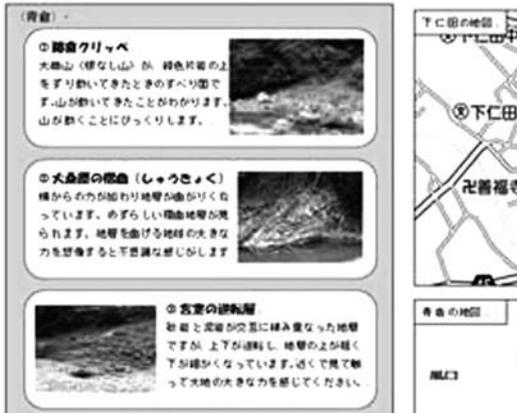
班ごとの取材活動

②完成した名所マップ—中学生版—



完成した名所マップの表

③名所マップの一部



名所マップのジオパークに関する一部分

動に取り組み、探究することを通して、下仁田町の魅力に自ら気づき、郷土を誇りに思う態度を養う。

(3) 指導計画

	ねらい	学習活動
1 時 限	オリエンテーションを通して、学習の目的や内容について知る。	総合的な学習の時間の活動について、教師の説明を聞く。
2	班編制をし、活動計画を作成する。	各班の活動について説明を聞く。
3 ～ 6	中間発表会に向けて班ごとに活動を進める。	班で話し合い、活動計画を作成する。前時に話し合っただった活動計画にしたがって各班の活動を行う。
7	これまでに学んだことを他の班と共有し、今後の活動への見通しを持つ。	前期の活動について発表し合う。(中間発表会)
8 ～ 12	中間発表会を生かし、より充実した活動ができるようにする。	中間発表会を振り返り、活動の見直しと活動の続きを行う。
13 ～ 15	最終発表会の準備をする。	発表原稿、プレゼンテーション、配布資料等の準備をする。
16	最終発表会を通して、学んだことや身に付けたことを伝える。	各班が取り組んできたジオパークの発信活動の成果を発表する。

(4) 活動の様子

①案内掲示板班の活動



作成した案内掲示板の設置

②リーフレット班の活動



下仁田駅に設置されたリーフレット

2 中学2年 総合的な学習の時間

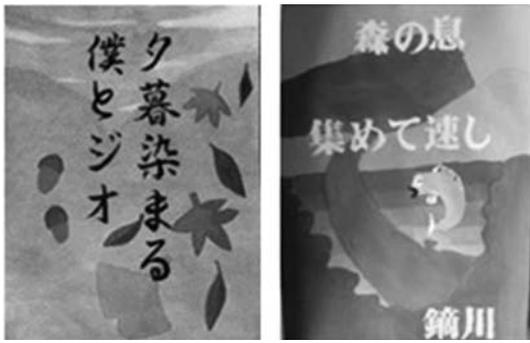
(1) 単元名

「下仁田ジオパークの魅力を広めよう」(16時間予定)

(2) 目標

下仁田ジオパークを教材とした地域の活性化につながる活

③ポスター班の活動



生徒が作成したポスター

④ウェブページ班の活動



生徒が作成したジオサイト紹介ページ

3 中学1年 総合的な学習の時間

(下仁田自然学校・自然史館の先生による出前授業)

(1) 単元名

「ジオパークについて学ぼう」(5時間予定)

(2) 目標

3回にわたり下仁田ジオパークに関わりのある先生方から話を聞き、下仁田町の大地の成り立ちについて興味関心を持つ。

(3) 指導計画

	ねらい	学習活動
第1回	下仁田町の大地のおいたちを学び、日本列島誕生や地球創造の謎を解く鍵が下仁田の大地の研究から明らかになる可能性に思いをはせる。	下仁田自然学校の先生の話聞き、下仁田の大地の歴史を知る。生徒が家の近くの河原から拾ってきた石を分類し、いつどのように形成されたものか知る。
第2回	およそ3万年前、金剛萱遺跡の時代に生きた下仁田の人々の様子を理解する。	自然史館長・明治大学教授・中村先生の話聞き、3万年前の下仁田の人々の暮らしを知る。金剛萱遺跡の土の成分を顕微鏡で観察し、いつどのようにして生成されたか理解する。
第3回	下仁田町を中心とした大地の動きを、群馬県や長野県の地図を見ながら広い視点を持って理解する。	下仁田町を中心とした広範囲の地図を見ながら、群馬大学・野村先生の講義を聞く。

(4) 活動の様子

①第1回 下仁田町の大地のおいたち



自分が持ってきた石の種類分け

②第2回 金剛萱遺跡



金剛萱遺跡の土の鉱物調べ

③第3回 下仁田町とその周辺の大地の形成



下仁田自然学校の野村 哲先生による講義

4 中学2年 美術

(1) 題材名

「ジオパークのぼり旗作成」(10時間予定)

(2) 題材の目標

下仁田の良さを効果的に伝える『のぼり旗』を制作する。

(3) 指導計画

	ねらい	学習活動
1 時 限	のぼり旗で伝えたい下仁田の良さを考える。	「下仁田」をキーワードにマインドマップづくり、下仁田の良さをたくさん見つけ、自分が伝えたいことを絞り込む。
2 5 5	のぼり旗の構想を練る。(下書き)	①効果的に伝えるための言葉と中心となる図案、背景を組み合わせて下書きを描く。 ②実物大の模造紙に下絵を拡大して描く。 ③模造紙の下絵の上のにぼり旗の布を置き、鉛筆で書き写し、マジックでなぞる。
6 5 9	のぼり旗の色を塗る。	布地の特性を考えながら丁寧に色を塗る。
10	展示・まとめ・鑑賞	のぼり旗を屋外に展示して、鑑賞する。

(4) 活動の様子

①布に下絵を描く



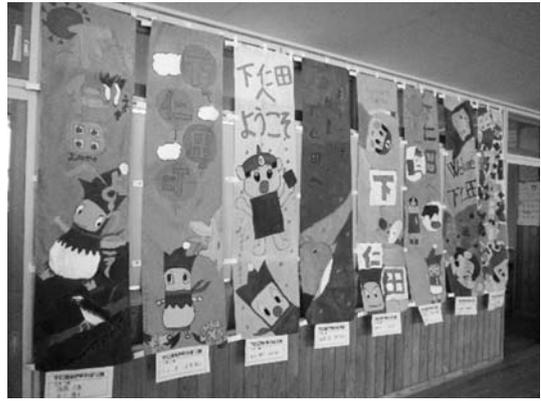
町で購入してもらった布に下絵を描く

②色を塗る



昨年度より2人1組で作成

③完成



町の主要施設に掲示

5 中学1年 家庭科

(1) 題材名

「郷土料理を作ろう」(2時間予定)

(2) 題材の目標

町の栄養士さんと食事改善推進委員の方々から、ネギとこんにゃくを使った郷土料理(あつたま汁)の作り方を学び、郷土料理のよさを知る。

(3) 指導計画

	ねらい	学習活動
1 時 限	食事における野菜の重要性と一日の理想的な摂取量を理解する。	町の栄養士さんと地域の食事改善推進委員の方からの話を聞く。
2	食事改善推進委員の方の指導の下、郷土料理・あつたま汁の作り方を学ぶ。	班ごとにあつたま汁の調理実習を行う。

(4) 活動の様子

①野菜の重要性を理解する



1日の野菜の摂取量について学ぶ

②調理実習



食事改善推進委員の方々の指導で調理実習

6 実践の成果と課題

(1) 実践の成果

- ・下仁田の地域素材を活用した下仁田学習の教材系列表を見直し、「荒船風穴・下仁田ジオパーク・ネギ・コンニャク」を4つの重点にして作成し、小学校・中学校の教育課程へ位置づけることができた。また、この教材系統表にもとづき重点的な教材を意識した下仁田学習を展開していくことができてきた。
- ・単元指導計画の見直しをすることにより、充実を図ることができた。また、扱いの教科等や指導の時期を明確にすることができた。
- ・活動の中で地域にも下仁田ジオパークについての学校の

取り組みを発信することができた。

- ・小学校では、下仁田の地域教材を体験する機会を多く設定し（入力中心）、中学校では、下仁田の地域教材についてさらに詳しく調べたり、情報発信したりする場を設定する（出力中心）ことで、児童・生徒が興味を持ち意欲的に学習に取り組むことができた。また、郷土に親しみ、郷土を愛し、郷土を誇りに思い、下仁田町をより深く理解することができてきた。

(2) 今後の課題

- ・下仁田学習の教材系列表の見直しをしてきたが、まだ小中の連携を考えると周知・連携・実践等で不十分な点が見られる。
- ・下仁田学習の実践は地域教材や人材の活用をさらに図り、今後も積み重ねながらより有効な下仁田学習としたい。
- ・下仁田学習の総合的な学習の時間や教科への位置づけを行ってきたが、それぞれの学年で行う下仁田学習について、内容などさらに工夫・改善を行い、授業実践を進めたい。
- ・小中学校が位置的に隣接していることの利点を生かし、下仁田学習における小中の交流を増やしたい。
- ・学校教育で下仁田学習を進める上で最も大切なことは、教員の下仁田町やジオパークへの愛着や思い入れであると思う。町では、4月に新しく赴任した教員の地域研修を実施していただいているがさらに充実した研修を行いたい。

